

同窓会会長挨拶



双樹会会長 米田 純子

会員の皆様には日頃から山口大学医学部保健学科同窓会（双樹会）に絶大なご支援、ご協力をいただきまして厚く御礼申し上げます。

3年前の3月に発生した東日本大震災もその復興に向けて道半ばという今年、広島県で豪雨による大災害が発生、引き続きまして長野県・岐阜県の県境に位置する御嶽山の噴火による大災害が発生して50数名の方々が被害に遭われたとの報道がありました。亡くなられた方々には哀悼の意を表しますとともに、被災されたご家族の皆様には心よりお悔み申し上げます。

被災地に災害支援者として多くの方が支援に入られました。その中に本会同窓生が多く参加されたことを聞きまして本当に感動しました。現地で活動された皆様、本当にご苦労様でした。

さて、いよいよ目前に近づいてまいりました山口大学開学200周年記念。双樹会も山口大学の発展を記念して、多くの行事に参加していきたいと思っています。

母校医学部保健学科も山口大学の発展と共に、「研究」「教育・研修」の各分野に於いて輝かしい活躍実績を積み重ねておられます。

修士課程、博士課程の卒業生も多く排出し、母校のますますの発展をみるにつけ、其のことを本当に誇らしく喜ばしいことだと思っています。

同窓生の皆様にビッグなニュースをお知らせします。本会同窓生である一三恵美先生（大分大学全学研究推進機構教授）が女性の研究者が受ける輝かしい賞「猿橋賞」を受賞されました。双樹会としてこんなにうれしく誉れ高い喜びはありません。

今回の一三先生の受賞記念講演会は保健学科の主催で開催されます。同窓生一同でお祝いをしなければと思っています。先生の受賞された研究テーマは「機能性タンパク質“スーパー抗体酵素”に関する研究」です。

最後になりましたが、同窓会役員をはじめクラス担当理事は日々会員の皆様と情報交換を密にしてアイデアを出し合い、各会員の自主的な発想や行動を大事にしていきたいと頑張っております。

会員の皆様の今後のますますのご発展とご健康を祈念しております。

平成26年10月